

広報ふかがわ 市民のみなさんと共に歩み続ける

祝 700号

毎月みなさんへ本市のさまざまな情報と市民の笑顔を届けている「広報ふかがわ」は、今月で700号を迎えました。昭和38年5月に第1号を発行してから58年。その歴史を振り返るとともに、みなさんの手に届くまでの過程や各コーナーの役割などについて、この機会に改めて紹介します。

問合せ 総務課秘書広報係 ☎26-2216

歴代記念広報紙

広報紙は、これまで本市がみなさんと共に歩んだ発展の歴史を伝えてきました。

第1号 昭和38年5月



昭和38年5月に深川町、一巳村、音江村、納内村が合併し「深川市」が誕生しました。これと同時に「広報ふかがわ」もB5版8ページの構成で創刊しました。表紙には開庁式の様子を掲載したほか、市役所の機構の紹介や市民から寄せられた新市行政に対する要望など、新たなまちならではの記事が並びました。

第100号 昭和46年8月



当時本市にはなかった下水道の計画区域案を掲載しており、最初の設計は駅前などの中心市街地を対象になりました。

第200号 昭和54年12月



除排雪や成人式に関するお知らせなど現在と同様に冬らしい記事が並び、一方、若者向けの行事でディスプレイが楽しめる写真の掲載も。

第300号 昭和63年4月



外国をまねて洋食が増加した当時、日本は米の消費量が減少傾向。紙面には米の魅力を再認識してもらうための特集を掲載しています。

第500号 平成16年12月



全国的に市町村合併が推進される中で、本市でも北空知1市4町の合併計画を策定しました。それに対する意見や質問を掲載しています。

第400号 平成8年8月



現在の「アグリ工房まあぶ」の名称を公募。まあぶは、農業体験を通じて「遊び心」で「学べる施設」という趣旨のもの名付けられました。

第600号 平成25年4月



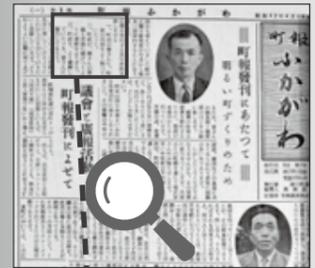
全国的に暴力団追放の機運が高まる中、本市も暴力団の排除の推進に関する条例を平成25年4月1日に制定し、その概要を掲載しました。

ちなみに

合併前の情報発信は?

一巳村、音江村、納内村、多度志町では便りを発行し住民に町からの情報をお知らせしていました。

深川町では昭和32年4月から「町報ふかがわ」を発行しており、第1号には広報紙を発行する目的が記載されています。



広報紙を発行する主な目的を申し上げます。

- 一、町民の皆さんに、町政の内容をよく知っていただく。
- 二、町政が、皆さんの幸福と密接に結びつくよう連絡をよくする。
- 三、町政を、よく理解していただき、皆さんに協力してもらう。

広報紙を発行する目的

広報ふかがわは、市が推進するまちづくりへの取り組みやその進捗状況などについて、市民のみなさんに行政と共通した認識を持つてもらいたいことを目的に発行しています。また、イベントの情報やみなさんの生活と密接に関わる情報も扱うため、わかりやすく伝わりやすい紙面となるよう、毎月気持ちを入れて編集しています。

現在は、インターネットで検索すればいつでも簡単に情報入手することができ、行政情報は全ての住民に等しく、同じタイミングで伝えることが求められるため、町内会を通じて全世帯に配布される広報紙はこの先も重要な媒体だと考えています。

また、広報紙はまちの姿を未来に伝えていく役割もあります。その時々話題に焦点を当てる広報紙は何十年、何百年後に、市の歴史を知るための大切な史料として活躍します。

みなさんの生活やまちの変化とともに広報紙の形も時代に合わせ変化してきましたが、発行する目的や思いは創刊当初から700号まで、そしてこれからも変わることはありません。

「広報ふかがわ」がみなさんに届くまで



1 企画
各部署から原稿を取りまとめ、特集をはじめとする各コーナーの方向性を大まかに決めます。



2 取材
写真撮影やインタビューにより、作成する紙面素材となる情報を収集します。



3 編集
必要な情報を整理し、分かりやすい文章、読みやすいレイアウトになるようパソコンを使って記事を作成します。



4 校正
印刷会社が色を調整した写真の色合いや作成した紙面内容に誤りがないか入念に確認をします。



5 納品
毎月第1木曜日の朝に印刷会社から11,000部が納品され、各世帯に配布するため仕分け作業を行います。



6 配布
各町内会長の自宅に広報紙を郵送し、それぞれの配布方法でみなさんの下へ届けられます。



広報紙が届いたら一通りチェックして、図書館コーナーの新聞案内や予約ランキングを参考に、本を借りに行くこともあります。毎月広報紙が届くのを母と一緒に心待ちにしています。



子どもが小さいので、子育てに関する記事や児童センターの行事予定をメインに読んでいます。写真が掲載されている記事はより目を引くので、今後も写真をたくさん使用した広報紙の発行を期待しています。

みなさんに聞きました!



かわいくも真剣な表情をした子どもの表紙が好きです。何年も前ですが孫を表紙に載せてもらったこともあります。お知らせの文章も読みやすく、新型コロナウイルス関連の記事は欠かさずに読んでいます。

まちのみなさんに普段どのように広報ふかがわを読んでいるか聞いてみました。

自分がどこかに写っていないか毎月写真を見ています。



先月号の裏表紙の写真「イモ植え体験」で、ちょうど見えない位置に自分がいたので、今度はしっかり写りたいです!(笑)

2021年1月号の牛柄の文字がお気に入りです。



やすい 安居 小優莉さん

広報に関するアンケートに協力を!

広報ふかがわが市民のみなさんに愛され続けるとともに、時代の変化に合わせたより良い広報活動を行えるよう、アンケートを実施しますので、みなさんの協力をお願いします。

◆回答方法

8月31日(火)までに必要事項(住所・氏名・年齢・性別・電話番号・8ページに掲載しているアンケート項目への回答)を記入し、下記のいずれかの方法で回答してください。

①回答はがき

裏面(8ページ)の回答用紙を切り取り、点線で二つ折りにし、のり付けして郵送してください。

②回答フォーム

市ホームページまたは右記のQRコードから回答してください。



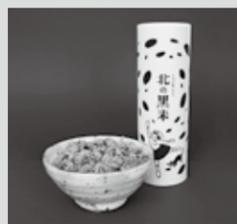
③電子メール・FAX

kouhou@city.fukagawa.lg.jp宛てにメールまたは、0164-22-8134宛てにFAXを送付して回答してください。

◆抽選で回答者にプレゼント

回答していただいた方の中から抽選で15人の方に、7月にパッケージをリニューアルした本市の特産品「北の黒米」(300g)をプレゼントします。
※当選発表は、9月中旬(予定)の発送をもって代えます。

..... 北の黒米



本市で原種が生まれた黒米品種「きたのむらさき」の商品。ビタミンやポリフェノール的一种であるアントシアニンなどを多く含む健康的な食材で、白米と一緒に炊くとうま味も増すという調査結果が出ています。

アンケート項目は裏面(8ページ)です

特集

本市の考え方や取り組みのほか、まちの大きな動きなどについて毎月特集を組んでいます。より多くの方に読んでもらえるよう取り上げる題材や記事のレイアウトなどを工夫して作成しています。



コーナー紹介

広報ふかがわの主なコーナーを、改めて紹介します。

地域の星

大会などで優秀な成績を納めた方や社会貢献活動に取り組む方など、頑張る市民を紹介するコーナーです。

ちなみに...

初回の2017年11月号で登場したのは元地域おこし協力隊で、現在も(株)深川振興公社の社員としてシードルの製造に取り組む上平啓太さんでした。



多くの方に支えられ、ふかがわシードルは販売から7年目を迎えました。今後も深川産リンゴの魅力为全国へ広めたいです。

表紙・カメラスケッチ



広報紙作成に当たり、写真撮影は最も力を入れているポイントの1つです。声を掛けて表情をつくってもらうのではなく、市民の日常を切り取ったような、自然な表情を撮影するよう心掛けています。



広報紙に掲載した写真は、無料で差し上げます。撮影した写真が喜んでもらえる励みにもなります。総務課秘書広報係(☎26-2216)まで気軽に連絡してください!

マンスリーニュース



写真だけでは伝え切れないまちの出来事を文章と合わせて紹介しています。決まった文字量の中で記事の内容が正確に伝わるよう、言葉選びや表現を工夫して作成しています。

おしらせ

各制度や行事などの情報を丁寧にお知らせしています。広報ふかがわの約7割を占めるボリュームがあるので、わかりやすく正確に内容を伝えるため、文章の表現や文字一つ一つを細かく見直し、必要な情報を端的に掲載するように意識しています。

市民掲示板



市内で活動している個人・団体の会員募集やイベントの告知などを掲載しています。掲載は随時募集しているので、気軽に連絡してください。
※詳しくは10ページをご覧ください。

広報ふかがわは、これからもみなさんと共に

広報ふかがわでは、できるだけ多くの市民のみなさんに広報紙を手にとってもらい、まちに対する興味を持ってもらえるよう紙面に写真を多く使用することを心掛けています。市内のイベントに参加した方の笑顔や、表彰を受けてちょっぴり緊張した様子の方、体験授業やスポーツなどで真剣な表情を見せてくれる子どもたち。私たちが毎月充実した記事を作成できるのはみなさんの協力があるからです。広報ふかがわは700号の節目を機に、市民のみなさんがより一層のまことに親しみを持ってもらうよう、大きな施策から身近な地域の話題まで、本市のさまざまな魅力を伝え続けていきます。これからも、広報担当職員が取材に伺った際は、写真撮影やインタビューなどへの協力をお願いします。